

学校だより



川西市立多田小学

12月号 平成30年12月3日

学校HP: <http://www.kawanishi-hyg.ed.jp/tadapo/>

◎心を育てる音楽会!

一人ひとりの心に感動を残して音楽会が終了しました。1年生から6年生まで、全員の心が一つになった素晴らしい音楽会でした。本番までの長い取り組みでは、難しいところを何回も何回も繰り返し練習している姿を目にしました。「私一人ぐらい、僕一人ぐらい手を抜いたって・・・」なんて思った子は誰一人いなかったと思います。

だからこそ一人ひとりの声、一人ひとりの楽器の音色が響き合ったすばらしい合唱や合奏でした。一人ひとりの堂々とした姿、真剣な演奏は、聴く人を心から感動させてくれました。人の心も響き合ったすばらしい音楽会を創り上げることができました。

学校では、音楽会や運動会など様々な行事を通じて、自分の力を伸ばすとともに、補い合うことや励まし合うこと、いたわり合うことや認め合うことを指導しています。

そうした環境の中で、子どもたち一人ひとりが行事への参画意識を持ち、自分の役割をしっかりと自覚して、みんなで創り上げる心地よさや、達成感、成就感を実感させたいと考えています。

現在は、子ども同士の関係が希薄になりつつあるという指摘もされています。子どもたちの心をつなぎ、協力して一つのことに取り組み、苦勞を乗り越えてやり遂げた感動をともに喜び合う。このような体験は小学生の時期にこそ大切だと思っています。

全校児童、全教職員が一丸となって、これからも『子どもたちの一所懸命な姿溢れる行事』を目指していきます。



1年 ともだちっていいな



2年 フォーシーズン・メドレー



3年 Sun-3-サンバ



4年生
Let's Feel Harmony &
Rhythm! With a Smile!



5年
光と 風と 空と
大地のシンフォニー



6年
奇跡を信じて、
未来へ挑む!!

※日々の学校生活についても、ホームページで紹介しています。ご覧ください。

◎三年先の稽古

すべての人に平等に1日24時間が与えられ、その使い方はその人の自由です。誰でも、できることならつらくない方、楽な方を選びがちですが、自分の可能性に気づかずに毎日を過ごしてしまうことはとても残念なことです。

大相撲の故・九重親方(元横綱・千代の富士)がインタビューで次のようなことを話しています。『三年先の稽古』という言葉がありますが、今日、明日とか1週間くらいやったらすぐには力はつかない。毎日毎日稽古することによって3年くらいたってようやく稽古の貯金ができ、本当の相撲の力ができてくる。そういう信念を持って頑張れる子はよくなっていく』という言葉です。



今、一日一日を大切に一生懸命取り組んでいる子どもたちはたくさんいますが、それに加えて、三年先を考えて今トレーニングに励もうということなのです。

当然のことですが、三年先のことを考えると同時に、今ここでやるべきことを目いっぱいやり抜かなくてはなりません。相撲界では「今強くなる稽古と、三年後に強くなる稽古と両方やらなくてはならない」とも言われています。

三年先にも楽しく意欲的に取り組んでいるよう、子どもたちには今の自分の良いところや頑張っていくことをしっかり自覚してほしいです。子どもたちは、今のままの自分でよいのかよくないのかは、よくわかっています。大切なのは、そのことを先生やおうちの人から言われたら素直に受けとめ、よくしていく努力をすることです。三年先の自分の姿を思い浮かべて、早いうちに取り組んでほしいものです。

自分をしっかり見つめなおし、三年先の自分を考えられるような力を身につけ、二学期を締めくくってくれることを期待しています。

～がんばる 多田小の子どもたち～

・国際平和ポスターコンテスト
学校賞 6年 河谷風羽子さん



・防火ポスターコンクール
佳作 4年 今西沙奈さん



川西市教育委員会からのお知らせ

給食調理補助 急募!!

久代小学校と明峰小学校の給食調理員(臨時職員)登録のご案内

◆免許、経験がなくても給食に理解と熱意のある方であれば登録可能です。勤務条件など、詳しくご説明します。まずは、お気軽にお問合せください。

☎072-740-1256

川西市教育委員会 学務課まで

